

平成 29 年度 校長だより

不撓不屈

【糸満市立糸満中学校 教育目標】
 【知】主体的に学び
 【徳】心豊かで勤労を大切にする
 【体】心身ともに健康な生徒

【 強い意志をもって、どんな苦勞や困難にもくじけないこと 】

発行者 校長 與那覇正樹

新しい授業に向けてⅣ～授業改善の取組「主体的・対話的で深い学び」～

学校便り第 9 号 (7 月 7 日発行) 第 16 号 (10 月 12 日発行) 第 24 号 (2 月 5 日発行) において紹介しました続編 (第 4 弾) で各先生方が推進する授業改善の様子を簡単に紹介します。文部科学省が推進する今後の授業の在り方や方向性である「主体的・対話的で深い学び」をキーワードにした授業を紹介させていただきます。



「主体的・対話的で深い学び」 社会科：〔内山直美 教諭〕

1 年 5 組 ～南アメリカ州「ブラジルに見る環境問題と対策」!!～

11 月 16 日に 1 年 5 組において内山直美教諭による社会科の公開・研究授業が実施されました。「アマゾンの開発と保全の視点を知り自分ができることを考えよう」を課題に、森林開発の現状とブラジル大統領の声明文をもとに、賛成派と反対派の意見をロールプレイで演じました。各グループでの発表の後、協力したいグループ・説得したいグループを指名し、アマゾンの開発について環境保持と開発について、根拠を示しながら意見交換していく授業で、更なる問いや様々な立場で考える活発な授業でした。一人ひとりが環境問題について考えることが未来の地球に繋がっていくことを感じました。

「主体的・対話的で深い学び」 保健体育科：〔上原立誠 教諭〕

1 年 1・2 組 ～仲間と練習を工夫して 普及型 I を!!～

11 月 20 日に 1 年 1・2 組で上原立誠教諭による保健体育科の公開・研究授業が実施されました。島尻教育事務所の平良指導主事を招聘し「生徒一人一人が運動に親しむ資質や能力の育成」を目指した授業でした。沖縄を発祥とする伝統文化「空手」の普及型 I を習得するために、仲間と協力しながら学び合うとともに、映像やリトルティーチャーの活用、ペア・チーム (グループ) 等の学び合い等、アイデア満載の工夫された授業でした。



【町田宗之助さん】「今日の授業は、みんなで一致団結して協力することができ、空手のすばらしさをあらためて感じることができました。」

【與儀 笑胡さん】「今日は、普及型 I の 10 番まで覚えようとするみんなを見て感動しました。次の体育の時間も真剣に取り組み、がんばりたいです。」

【德里 圭汰さん】「仲間と協力し合い、普及型 I (1) を 2 時間という短時間で 10 番まで覚えられました。みんな、すごいと思いました。」

「主体的・対話的で深い学び」

社会：3 年 1 組・2 組 【古堅勇人 教諭】

～コンビニエンスストアの経営者になってみよう!!～



12 月 6 日に 3 年 1 組・2 組で古堅勇人教諭による社会科の公開授業が実施されました。教科書と電子黒板に提示された仮想都市の数カ所の空き地のどこにコンビニエンスストアを出店するか？どの年齢層をターゲットにしながら、どのような商品を中心に販売していくか等、経済について考える授業でした。グループで討議し、立地条件から出店場所を考え、活発な意見交換と発表があり、終始、笑顔あふれる雰囲気でした。

【神谷大嘉さん】「本日の授業は、消費者視点ではなく経営者の経営者の視点で経済を学びました。他のグループの意見も交えてみると、自分が想像出来ない様な意見が沢山あって、考えることが面白かったです。今回の授業を通して、自分の家の周りにあるコンビニやショッピングモール等が、何故、その場所に設けたのかを、一度考えてみようと思いました。」

【赤嶺聖羅さん】「経営者になるには、適当に (出店) 場所などを決めるのではなくて、ちゃんと立地条件から売り上げが伸びる商品などを予想したり、考えないといけないので大変だと思いました。」

「主体的・対話的で深い学び」 **授業改善に向けて!! 1 学年で公開授業を実施**

11 月 20 日 6 校時に授業改善の取組として 1 年の各クラスで一斉に公開授業を実施しました。生徒の「学び合い高め合う姿」をイメージしながら「主体的・対話的で深い学び」の視点で公開授業を行いました。島尻教育事務所と琉球大学の先生方にも参観してもらい助言を受けながら、各先生方の授業改善をめざす取り組みです。

【理科 金城博之 教諭 1 年 3 組】



個体から液体、液体から気体へと「状態変化したときの質量と体積を粒子モデルで表現する!」ことをめあてに、それぞれ(個人)の考えを出し合いながらグループでまとめ、その根拠について説明しながら発表していく授業でした。

【田中 温希さん】
「この授業を通して、粒子の広がり方を知ることができました。とても楽しい授業でした。」

【上原 紗菜さん】
「今日の授業では、粒子モデルを図で表現し発表しました。とても緊張したけどみんながきちんと聞いてくれて良かったと思いました。他のグループもとても良い発表だったと思います。」

【英語科 屋宜大仁 教諭 1 年 1 組】



「絵の内容を英語で伝える」ことをめあてにこれまで勉強してきた学習内容をもとに発表していく授業で音読を意識しながら「話す力」を育成していく授業でした。ペアで互いに教え合うなど工夫した楽しい授業でした。

【平良迅識さん】
「今日は音読で伝え合うことができたけど、わからない単語の意味もあったので次までにわかるようにしたいです。」

【上原亜美さん】 英語で絵の内容を伝えることは難しかったけれど、自分の言葉で相手に伝えることができました。次の英語の時間には、もっとスラスラ読めるように家でも練習してがんばりたいです。」

【数学科 酒屋毅・上原隆太郎 教諭 1 年 2 組】



これまで学習してきた内容である比例を使って、表を作成して解く生徒、式である $y = ax$ 等を用いる生徒、グラフを示し $y = ax$ が比例し直線を表している等、様々な解き方を個人・グループで考え、気づき、理解を深め、共有していく課題解決型の授業でした。

【久貝寛仁さん】
「数学の授業でやり方(解き方)に難易度の違いがあることに驚きました。」

【国語科 下地幹子 教諭 1 年 4 組】



「竹取物語」のおもしろさを伝え、友達の発表を聞いて、共感・感動し自分の考えを深めていく内容でした。

【石橋愛琉さん】
「自分とは違った見方・考えで、いろいろな視点での竹取物語のおもしろさや発見がありました。」

【玉城飛翔さん】
「一つの竹取物語という資料からこんなに多くの竹取物語のおもしろさがあることがわかりました。一つ一つみんなの考え方が違ってよかったです。」

【社会科 内山直美 教諭 1 年 5 組】



2015 年、国連加盟国において採択された「アジェンダ 2030」の「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」に関する授業でした。より良き将来を実現するために今後 15 年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、深刻化する環境課題など 17 の目標などを全世界が取り組み『誰も取り残されない』世界を実現しようという壮大なチャレンジに関する授業で生徒一人ひとりがグローバルな視点で考え、理解を深めていました。

【仲里なつき さん】「世界の問題について考えることで、日本の課題にも触れることができました。」

【与那覇玄己 さん】「SDGs の勉強は 2 回目だけど、忘れていた事などが思い出せたことや、復習にもなったことなど、自分の知識も増えてよかったです。」

「主体的・対話的で深い学び」 **特別支援教育: [杉谷綾乃 教諭] 「一秒の言葉!!」**

12 月 12 日に特別支援学級において杉谷綾乃教諭による公開授業が実施されました。「一秒の言葉」をテーマに、「人は一人では生きていけない」親・家族・友達・先生・仲間などに支えられていきます。そのなかで、コミュニケーションをとるための重要なものが「言葉」です。今まで言われた言葉を子どもたち自身の経験をふまえ、相手の立場になって考えていく内容でした。嬉しかった言葉に「ありがとう」「がんばって」「できるよ」、悲しかった言葉に「バカ」「くそ」「うるさい」などが出ていました。あなたは、どちらの言葉が口癖ですか? 知らず知らずに人を傷つけていませんか?

